

泉北地区 夏期実技研修会報告

2025年10月2日(木) 14:00~16:30

会場 高石市立高陽小学校
6年2組教室・多目的室

講師 堺市立福泉上小学校 校長 那賀 典仁

「造形あそび」

造形あそびの授業における基本的な考え方や子どもたちへの
声かけ、支援等を題材を通して一緒に考える

今年度は、「造形あそびって何をめあてに取り組ませたら正解なの?」「評価はどうすればいいの?」「新しい素材にもチャレンジしたいけど、なにかよいものはないかな」という先生たちの声から、造形遊びをテーマに、堺市立福泉小学校、校長 那賀典仁先生を講師に迎え、「造形あそびの授業づくりのポイント」の講義だけでなく、ワークショップも行っていただきました。

1、「造形あそびの授業づくりのポイント」講義

那賀典仁校長先生の講義より

○造形あそびとは?

学習指導要領解説の図画工作編に、表現と鑑賞という領域があり、そのうちの一つ、「A 表現」には、「造形あそびをする」とことと「絵や立体、工作に表す」という活動内容がある。「絵や立体、工作に表す」活動は、テーマが決まっており、「造形あそび」はテーマが決まってないということが違い。

※「絵や立体、工作」では、「海を描こう」と言われたら必ず「海」を描くように、「花」「動物」「木」「車」「町」などテーマがある。

※「造形あそび」は、「長く」「高く」「積む」「つなぐ」「並べる」は伝えるが「固定された」テーマはない。

○評価について

子どもの行為の変容を見ていくことが大事である。子供の活動として材料や場所があった場合触れるところから始める。または、「積む」「つなぐ」「並べる」等の行為を提案して始める。つくって考え直し、またつくりかえる。この繰り返しを子どもたちはしている。子どもが活動の中で見せたいろいろな行為、試行錯誤する姿、しぐさ、表情、対話、感じ取ったことや発言などをみとるため、写真や動画を撮る。また、授業終了時に壊して片付ける作品も多いため、写真や動画は効果的である。

○授業づくりで大切にすること

- 1, 低学年は、体全体を使って、身近な自然物や人工の材料を使い、単純で感覚や気持ちを大切に。中学年は、低学年に少し加えて、場所や材料を組み合わせる。
高学年は、経験、技能を総合的にいかし、空間、材料、場所を組み合わせる。
- 2, やってみたいと思える題材、自然に触ってしまうような材料、簡単にできてしまう行為

○授業展開で大切にすること

- 1, 大切なことは、目の前の子どもたちをよく褒めて、認めること。図工で使える魔法の言葉「おもしろいことやっているやん」を伝え、形や色のことをはじめ、全体的にほめるのではなく、部分をほめること。
- 2, 子どもたちがじゅうぶん材料に触れられる時間を設定すること。材料にじゅうぶん触れられたら、子どもたちがどんなことをしてみたのか共有する時間をとる。子どもたちどうしの共有により、新たな挑戦をしようとする子がでる。

2, ワークショップ～実際にやってみよう～

那賀先生に教えていただき、たくさんの材料を用意しました。

② 紙コップでどんなことができる？

① むすんで、つないで、...



※紙コップ5オンス（ホワイト）6000個

※スズランテープ7色

（白・黄・青・緑・赤・橙・桃・空）

長い棒にさして、長机に渡し、くるくるとひきだしやすくしました。

※毛糸23色

30cm程度に切っておいたもの、切っていないもの、キラキラしたもの、太さの違うもの



まずは、6000個紙コップを目の前にして、「すごい」と声が出ました。もくもくと積んでいく人、並べる人、、、紙コップをつんだり、ならべながら、くずれたり、直したりを繰り返しました。

3つある素材について、どの素材からはじめてもよい、ということでしたが、圧倒的な6000個に、全員がまず紙コップを触りはじめました。途中でシェアの時間も持ちました。

次に、毛糸やスズランテープで「つないで、つなげて、、、」を始めました。教室の棚に、たくさん用意した毛糸を結んでつなげたり、教室の真ん中に設置したスズランテープをひきだして、さらにつないで、むすんでいきました。

たくさんある、というだけで「これをつくろう」という気持ちよりも、「触ってみたい」という気持ちが先にでてきました。



3, おわりに

最後に、先生よりいままでの実践例を具体的に見せていただきました。材料については、泉北で共有の教材にし、貸し出しをしていく運用方法も教えていただきました。

2学期が始まってすぐ、参加された先生が2年生で「紙コップでなにができるかな」を実践されました。子どもたちは、6000個の紙コップを前に夢中になっていました。2人組や3人組に自然となり、どんどんつながっていきました。最後は、道をみんなで歩いたり、秘密基地に入れてもらったり、「先生写真を撮って！」と笑顔で楽しんでいました。大人たちより、つながっていくスピードが速かったです。片付けに15分ほどかかっていましたが、つぶすことなくていねいに扱っていました。

